

聖仁会だより

2021

1.22

Vol

24



編集 広報担当

医療法人社団聖仁会 白井聖仁会病院

〒270-1426 千葉県白井市笹塚3-25-2

TEL:047-491-3111 FAX:047-491-3128

URL: <http://seijinkai-shiroi.jp/>

E-mail: shiroi@sjkhp.com



// トピックス //

特集：消化器内科について

『山中湖の霧氷』

写真提供：院内スタッフ

◆新入職員紹介

◆レントゲンってどういう言葉？

◆健診センターコラム

特集 消化器内科について

一般内科・消化器内科 紅露 剛史

本年もよろしくお願いいたします。

2020年1月に入局してから1年が経ちました。

入局して消化管内視鏡を盛り上げようとした矢先に起こったのが、新型コロナウイルス（以下コロナ）によるコロナ禍でした。感染症対策に労力をつぎ込み、一時期は内視鏡の件数を制限せざるを得ない状況でした。現在は対策を講じて、より安心・安全に内視鏡が受けられるよう、施行できるように体制を整えております。禍を転じて福と為した一つと思います。

当院ではコロナ患者の入院治療は行っておりません。私ができることは、日常の診療をきちんと行って、通常診療の歩みを止めない事と考えております。

二次健診や、近隣の先生方からのご紹介などもあり、昨年の消化器内視鏡検査は、コロナ禍の中でも、これまでと同等に近い検査数を行うことができました。

また、赴任してから当院でも行えるようになった以下の内視鏡治療は、おかげ様で、1年間でERCP（胆道・膵管系の内視鏡）13件、バルーン式小腸鏡9件、消化管狭窄バルーン拡張術8件、消化管金属ステント挿入術4件、ESD（内視鏡的早期胃がんの剥離術）2件を行うことができました。コロナ禍の時代だからこそ、身近な場所で治療を望まれる方も多いと思います。そんな気持ちに少しでも沿うことができるよう尽力させていただきますのでよろしくお願いいたします。

2020年11月からは消化器内科外来（土曜日午前）も開始させていただいております。

お腹の悩みがあった際は、お気軽にご相談いただければ幸いです。

一般内科・消化器内科 紅露 剛史





・消化器内科について

主に胃・食道・十二指腸・大腸の消化管の病気、肝臓、胆嚢、膵臓などの病気を扱うのが消化器内科です。

吐き気、胸やけ、便秘、下痢、血便、腹痛など、腹部症状がある方は早めの受診をお勧めします。

また、早期の消化器癌、胆膵領域の癌は自覚症状がないことも多いですので、症状のない方も、ご心配な方は受診してください。採血、消化管内視鏡（胃カメラ、大腸鏡）、CT、MRIなどで精査していきます。

消化器は食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓という幅広い臓器があり、それぞれ多くの疾患があります。

具体的な主な疾患としては、食道炎、食道癌、胃炎、ピロリ菌感染、胃・十二指腸潰瘍、胃癌、小腸出血、炎症性腸疾患、（クローン病、潰瘍性大腸炎）大腸ポリープ、大腸癌、胆嚢癌、胆管癌、総胆管結石、膵炎、膵癌、膵のう胞性病変、肝炎、肝硬変、肝細胞癌、などがあげられます。それぞれの疾患に対し、適切な内服、処置を選択してまいります。当院で対応困難な際は、適切な病院に紹介させていただきます。

上部・下部消化管内視鏡、胆膵内視鏡を中心に診断、治療を行っています。

早期癌などに対し、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、ポリープ切除を行っています。

炎症性腸疾患に対し、内服調整から抗TNF- α 抗体療法などのBio製剤まで病態に沿った治療を行っています。

小腸疾患に対しては小腸内視鏡を用いた診断・治療を行っています。

胆膵領域では胆道結石や悪性腫瘍に伴う閉塞性黄疸、胆管炎に対する内視鏡的結石除去術、ステント留置等を行っています。胆石、胆のう炎は外科への受診・紹介をさせていただきます。

・主な消化管内視鏡処置の例

名称	所要日数	説明
内視鏡的大腸ポリープ切除術	約2日	内視鏡を用いて大腸ポリープを切除します。多くは入院して経過をみます。
早期消化器癌の内視鏡的粘膜切除術（EMR）		内視鏡を用いて早期癌を切除します。部位、大きさ等により適応を慎重に判断して行います。
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	約7～10日	術後合併症がなければ約1週間で退院できます。
消化管ステント挿入術	約5～10日	消化管癌によって閉塞している所にステントを挿入し流れを良くします。
小腸ダブルバルーン内視鏡	約2～3日	レントゲンを併用して小腸の観察、治療を行います。鎮痛剤を十分量使用するため、入院で行います。

◎胆・膵系の内視鏡的検査・処置

内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）	約2～3日	胆道、膵管の検査を行います。偶発性もあるため、入院で行います。
内視鏡的胆管結石除去術	約5～10日	総胆管結石を砕石、排石します。多くは胆管炎を合併しており、入院日数が長くなります。
内視鏡的胆道ステント挿入術	約5～10日	胆管閉塞部位にステントを挿入し黄疸の解除をします



レントゲンってどういう言葉？

白井聖仁会病院 放射線科

病院にかかった時に皆さんも一度はレントゲンという言葉を目にした事があるのではないのでしょうか？

「では胸のレントゲンをとらせてもらいますね」など、レントゲン=X線撮影の意味で用いられていますが、では何故レントゲンと言うのでしょうか？

実は「レントゲン」という言葉は、X線を世界で一番最初に見つけた博士の名前だったのです。

ある日レントゲン博士は、ガラス管の中の気圧を低くしてその中に高い電圧の電流を流す実験をしていました。

その時、黒い紙でしっかりと被っているガラスの偶然近くにあって蛍光板（自ら青白い光を放つ物質が塗ってある板）が発光していることに気がつきました。

そしてそこに手を重ねてみると手の骨の形や仕組みがはっきりと良く見えて、博士はビックリ！

そこで、この不思議な光線を、数学で未知数を意味する「X」からとってX線と名付けました。

右の写真がその時の、世界で初めてのレントゲン写真になります。

この写真が証拠となり、1901年に「X線の発見」の功績で記念すべき第1回ノーベル物理学賞を受賞しています。

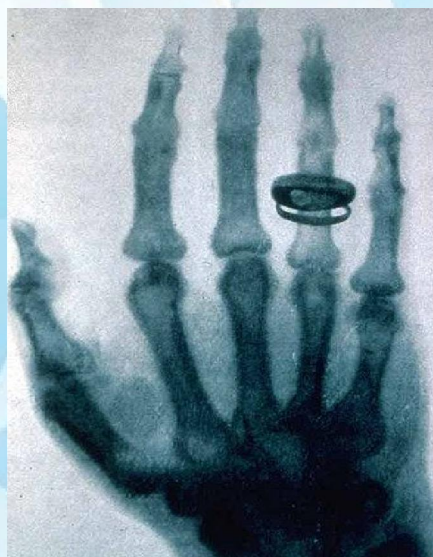
ここからがレントゲン博士のすごい所です。

数多くの賞賛を受けたレントゲン博士ですが、「科学は個人利益のものではない」としてノーベル賞以外の受賞をすべて断り、貴族の称号すらも辞退しています。また、ノーベル賞の賞金でさえ全額、所属していた大学に寄贈する徹底ぶり。

X線の特許を取れば莫大な資産が手に入ると勧められたこともありますが、レントゲン博士はこう断っています。

「私は特許を獲得したいとは思いません。私はX線を発明したのではない。X線はX線を必要とする全人類のものです」

レントゲン博士が特許やお金儲けにこだわっていたら、X線が医学に応用されてもなかなか広まらなかったかもしれません。現在では、X線撮影はもちろん、CT（X線コンピュータ断層撮影）でもX線が利用され、多くの診断に活用されています。レントゲン博士の偉大な業績に尊敬と感謝の意味を込めて、今でも「レントゲン=X線撮影の通称が使われているのかもしれない。



健診センター column コラム

白井聖仁会病院 健診センター



健診センターwith コロナ

今ではマスクの着用やソーシャルディスタンスが日常となりましたが、4月の始めはこれまでに無かった状況に健診センターのスタッフも利用者様の対応や健診業務をどのように行っていくか等、ミーティングを重ねて参りました。

5月の緊急事態宣言解除後より、健診センターでは厚生労働省や人間ドック学会のガイドライン、当院感染対策委員会の指導を基に、以下の感染対策を行っております。

- ①マスク着用を必須とし、2週間前程度からの体調チェックと検温を来院時に行います。
- ②入口や血圧計の横にアルコール消毒液をご用意し、適宜手指消毒を行って頂きます。
- ③待合い席を指定席とし、健診が終了するまで他の方は使用しません。
- ④ソーシャルディスタンスの為、待合い席は間隔を空けてお座り頂きます。
- ⑤採血室や診察室のイスやテーブル、検査機器類、ロッカー等の使用後は、お一人様ずつ消毒を行います。
- ⑥30分毎を目安に窓を開けて換気を行います。
- ⑦職員は毎朝の検温を行い、マスクとフェイスシールド着用、手指消毒を徹底します。



健康増進や体調管理に注目が集まっている中、毎日ご相談やご依頼のお問い合わせが多く寄せられています。感染対策を行いながらの為、ご迷惑やご不便をお掛けする事があるかもしれませんが、少しでも多くの方にご利用頂けるよう今後も努めていきたいと考えております。

当健診センターでは人間ドックや各種健康診断、予防接種等のご依頼を承っております。

お申込み期限がある場合は、早めのお問い合わせをお願い致します。

医療法人社団聖仁会理念

患者さま一人ひとりのかけがえのない人生の支えとなるように人に優しい医療・看護・介護を実践します

白井聖仁会病院基本方針

- 1 私たちは、患者さんの意思を尊重し、安心・安全な医療を提供します
- 2 私たちは、健康と生命を守るため日々研鑽に励み、質の高い医療を提供します
- 3 私たちは、地域と密に連携し、地域医療の発展に貢献できる病院を目指します
- 4 私たちは、時代に即し、地域のニーズに答えられる、満足度の高い病院を目指します
- 5 私たちは、心が通い合う、人生に夢と希望を抱ける医療を目指し、最善をつくします

患者さんの権利

- 1 安全で良質な医療を平等に受けることができます
- 2 人としての尊厳が保たれた医療を受けることができます
- 3 病気や治療について十分な説明を受けることができます
- 4 治療方針の決定に参加し、ご自身の意思で医療を選択することができます
- 5 病気あるいはその治療方法などについて、他の医師もしくは他の医療機関の意見を聞くことができます
- 6 病院に対して意見や要望を述べることができます
- 7 プライバシーは保護・尊重されます

患者さんの責務

- 1 適切な医療を受けるため、自らの健康状態等、必要とされる情報をできる限り正確に担当の医療者に伝える責務があります。
- 2 検査や治療について納得して合意したその方針に意欲を持って取り組む責務があります。
- 3 自分自身を含めた全ての患者さんが快適な環境で医療が受けられるよう、病院の規則や病院職員の指示を守る責務があります。
- 4 提供を受けた医療に対し、医療費を支払う責務があります。

白井聖仁会病院の診療実績（2020年10月・11月・12月）

	10月	11月	12月
1日平均外来患者数	369	425	336
1日平均入院患者数	170	162	146
月間新患者数	342	569	415
月間救急患者数	29	33	39

放射線検査	10月	11月	12月
一般撮影	2353	2247	1963
マルチスライスCT(造影含む)	445	326	312
1.5T MRI(造影含む)	152	126	172
透視	73	58	45
マンモグラフィ	308	258	190